

平成19年度

第4回岡山市総合政策審議会保健・福祉部会における主要な意見

- 1 日 時 平成20年2月26日(火)13:31~15:42
- 2 場 所 岡山市本庁舎3階 第3会議室
- 3 出席者 委員10名
- 4 傍聴者 報道3社
- 5 議 題 児童相談所の設置について  
養護老人ホーム玉松園のあり方の審議等  
(報告) 子育てアクションプランの推進状況の報告
- 6 主要な意見

児童相談所の設置について

- ・発達障害と診断されるケースは増えてきているが、特に増えてきているのはボーダーラインIQや高機能の人たちなので、そういうことも計画を立てる上で参考になるのではないかと思う。
- ・障害が重なっていたりしてなかなか理解しづらい面がある。児童相談所ができたとき、それぞれの障害の専門家がどれくらい増え、対応できるのか。
- ・児童虐待について、児童相談所でフォローが不十分なときに地域の中で見守り、親子支援をしていくような体制ができたらいと思う。児相だけではなく、地域の中で活動できる拠点をつくっていただきたい。
- ・児童相談所の療育センター機能について、療育という言葉には様々なイメージがあると思うが、その目的をはっきりさせるべきだと思う。そのためには岡山市の持つ地域資源の足りないところを調査して、しっかり計画を練らなければならないと思う。
- ・専門家の配置について、中核になるのは児童精神科医だと思う。その人材を確保するということがコストはかかるがやはり一番大切だと思う。児童相談所の中に常勤の児童精神科医を2名配置するべき。
- ・児童精神科医は児童相談所に2名というのがベストだと思うが、隣接して必置義務のある精神保健福祉センターに医師2人配置は法的に決められており、そこに臨床感覚のある精神科医が配置され、児童相談所の児童精神科医と連携ができる体制がとれればいと思う。
- ・手厚い人員配置をとというのは、可能なのか。それをやるのは大変な決断が必要だと思う。

## 養護老人ホーム玉松園のあり方の審議等

- ・今の市立の3園の入所率はどうなのか、充足しているのか、増加傾向にあるのかどうか、今後の議論で重要になっていくと思う。入所待ちがあるのか、またそれはどのくらいか。
- ・既に決まってる事なのかもしれないが、金川病院の建て替えや養護老人ホームの建て替えについて、今までの継続物を組み立てるのではなくて、新たなフレームでよりよい地域づくりという視点で議論できないものかなと思う。
- ・民設民営の方針が決まっているように感じたが、公設民営とか公設公営の選択肢もあるのか。
- ・療養型の病床が少なくなっている中で、養護老人ホームは必要な施設だと思う。
- ・前回の議論で、3つの形態を示したが、それらの施設のコストや、サービスを受けられている方の満足度の比較をお願いしたい。